

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術 I	担当者名	棟方 ナナ子
授業の概要	介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解する。利用者、家族、多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける				
科目の到達目標	・対人援助職としてのコミュニケーション方法を理解する。 ・利用者・家族に対するコミュニケーション技法を習得する。				
DPの観点	②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	課題レポート及び試験結果を返却する。				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。授業への取り組みや試験で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合(%)	試験60% 授業内提出物30% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			コミュニケーションの意義 対人コミュニケーションについて学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
2			介護におけるコミュニケーション1 介護におけるコミュニケーションの意義を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
3			介護におけるコミュニケーション2 介護におけるコミュニケーションの目的を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
4			介護におけるコミュニケーション3 介護におけるコミュニケーションの役割を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
5			介護におけるコミュニケーション4 介護におけるメッセージの役割を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
6			介護におけるコミュニケーション5 メッセージが与える影響を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード レポート課題
7			介護におけるコミュニケーション6 非言語コミュニケーションの種類・役割を学ぶ	② ⑤	コミュニケーションカード
8			利用者・家族とのコミュニケーション1 話を聴く技法を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
9			利用者・家族とのコミュニケーション2 傾聴を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
10			利用者・家族とのコミュニケーション3 受容を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
11			利用者・家族とのコミュニケーション4 共感を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
12			利用者・家族とのコミュニケーション5 質問技法を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
13			利用者・家族とのコミュニケーション6 相槌・繰り返しを学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
14			利用者・家族とのコミュニケーション7 明確化・要点を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
15			利用者・家族とのコミュニケーション8 沈黙を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード レポート課題
期末試験			試験 まとめと確認		確認試験

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第5巻「コミュニケーション技術」莊村明彦 中央法規
参考文献	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--